

今、はばたきの時 翼——第一章の始まりに

去る九月十四・十五の両日、本校第十二回文化展が催された。今年のテーマは「翼」を基調とした。創立五十周年を迎えた我校の新し生まれ変わること、いう決意が胸にわるものある。

一年間通じ、生徒がわざわざ生じてはるまでの日闇で、生じてはるのな

いだるが、

学校の周年記念は、

文化展と体育大会が九月

マラソン大会が十一月に終り、今年も暮れようとしているが、年始に立てた計は果たせたであらうか。

第二章——それは今までのノンビリードの南校のイメージに終りを告げ、学校

全体が新しく生まれ変わる事であるが、各人それを

その事を自覚して月日を過ごして来ただらうか。

今年の文化展のテーマは「翼」。第二章の始まりに

今年度は南校創立十五年

であった。

ノンビリードの南校の二

年生は、入学してから今までたつうちに、南校の甘くなり、南校の金体が新しく生まれ変わる事が終ってしまった。

又、三年生は、その二年ぶりとつかり、染まつてしまつたのではないだろ

うか。

もし、田舎のノンビリ

ードの学校だといふイメージが南校には、きっとと表れてゐるのならば、それは歓

Point・分岐点

伝統を 受け継いで

〈浜松高新聞部〉

市立高新聞部を重ねれば、一
つ三重を数えます。

二重を数えます。

三重を数えます。

四重を数えます。

五重を数えます。

六重を数えます。

七重を数えます。

八重を数えます。

九重を数えます。

十重を数えます。

十一重を数えます。

十二重を数えます。

十三重を数えます。

十四重を数えます。

十五重を数えます。

十六重を数えます。

十七重を数えます。

十八重を数えます。

十九重を数えます。

二十重を数えます。

二十一重を数えます。

二十二重を数えます。

二十三重を数えます。

二十四重を数えます。

二十五重を数えます。

二十六重を数えます。

二十七重を数えます。

二十八重を数えます。

二十九重を数えます。

三十重を数えます。

三十一重を数えます。

三十二重を数えます。

三十三重を数えます。

三十四重を数えます。

三十五重を数えます。

三十六重を数えます。

三十七重を数えます。

三十八重を数えます。

三十九重を数えます。

四十重を数えます。

